

防災避難誘導訓練

11月14日（木）、『マグニチュード6.5の地震が発生、その後、火災が発生』したことを想定し、体育館に避難しました。



最初に、校長先生から、避難に要した時間が昨年度の同時期の訓練と比較して、短縮できていた事を高く評価していただきました。また、静かに避難することや集合時の点呼について、危険を知らせる指示に注意したり素早く安否確認を行ったりするために重要であるとの話がありました。



続いて、ボランティア部の生徒たちから、防災についての発表がありました。災害から身を守るためのポイントとして、建物を新しい耐震基準で耐震化工事することや家具の固定、食べ物や飲み物を最低3日分は用意する「備え」と、災害が起こった時の災害伝言サービスなどの「対処」について説明していました。

来年1月には、阪神淡路大震災から30年となり、南海トラフ地震の発生の可能性が高まる中、罹災時の安否確認の方法や避難集合する場所などについて、家族で話し合い確認しておいてほしいと思います。